

学術講演会のご案内

日時：2007年9月28日（金） 18時30分より
場所：メディカル手稲ビル2F 大会議室（手稲溪仁会病院向い）
札幌市手稲区前田1条12丁目1-40 電話 011-681-8111（代表）

～ プログラム ～

製品紹介 栄養食品「レナウエル3・レナウエルA」の情報提供
テルモ株式会社札幌統轄支店

【特別講演】

座長 手稲溪仁会病院 腎臓内科 山地 泉 先生
「慢性腎不全患者に対する栄養指導のあり方」
-食品交換表を考える-
昭和大学藤が丘病院栄養科 科長 菅野丈夫 先生

《要旨》

栄養指導とは、患者に対し食事療法という治療法の重要性と必要性を十分に理解し納得させたうえで、その実行法を指導し、実行した内容の評価とそれに伴う治療効果および栄養状態等の効果判定を継続的に行う治療行為であると思う。治療行為である以上、医師と管理栄養士の緊密な連携の下でおこなうことと、治療効果が上がるように指導することが、栄養指導をおこなううえで最低限必要な条件と考える。

しかし、現在多くの病院で行なわれている栄養指導は、栄養指導はすべて栄養士任せで医師はno touch、任せられた栄養士は栄養指導は治療行為という認識がないため単なる食事の指導に終始し、治療効果も栄養状態の変化も見ようとしないうえ、という状況ではないだろうか？

そして、食品交換表の問題は、その縮図ともいえるべき問題であると思う。

本講演では、栄養指導とは何か、本来どうあるべきか、そして食品交換表がなぜ、どのように問題なのかを、慢性腎不全の食事療法（栄養指導）を通して私見を述べさせて頂き、さらにこの件について皆さんと議論をさせて頂きたいと思う。

尚、当日は簡単な軽食をご用意しております。又、お車にてお越しの方は駐車券をお渡し致しますので、受付にお申し付けください。

共催 : 手稲溪仁会病院 地域医療連携室・テルモ株式会社
後援 : 北海道栄養士会